

さやまの教育

元気な

# さやまっ子



## 入間川小の環境学習「私たちの入間川」



5月19日(休)、入間川小学校の5年生78名が、総合的な学習の時間に、入間川でカヌー体験や水生生物調査、水質調査を行いました。

この学習は、2つの市民団体の協力のもと、川を背にした同校の立地環境ならではの取り組みで、11年めとなります。

児童たちは、水の汚れ具合や、河川の生態など、見ているだけでは分からない、川の現状や実態を学びました。また、市民団体の方から川と触れ合うイベントや保全活動などの川と地域の方々の関わりを聞き、川への親しみを深めました。



岡村 理亜鈴さん  
(入間川小学校・柏原小学校勤務)

市内の小学校に通う外国出身の子ども達に日本語の指導を始めて一年になります。日本に来て間もない子ども達は、給食で使うお箸を忘れたことを先生に伝えられないなど、学校生活のさまざまな場面で言葉の壁にぶつかっています。困っている子ども達の相談相手になり、早く日本語に慣れ親しんでほしいという思いでサポートしています。



子ども達が「先生が来てくれるから、学校が楽しい!」と言ってくれることが指導員を続ける励みになっています。

When in Rome, do as the Romans do. (郷に入っては郷に従え)という言葉があります。日本の生活に慣れていない皆さん。まずは、「見よう見まね」でやってみるから始めてみましょう。

## いさ 勇ましいちびっこ武士が誕生

5月7・8日(土・日) / 若武者になろう(博物館)

よろい 鎧を身に付け、くわがた 鍬形の立派な兜をかぶり、かぶと 刀を構えると気分はすっかり戦国武将。背筋をピンと伸ばし、りりしい表情で写真に収まりました。



## フルスイングで身も心も軽やかに

5月15日(日) / 壮年ソフトボール大会(上奥富運動公園)



40歳以上の選手で構成された14チームが出場。年齢を感じさせないガッツあふれる攻撃や、経験に裏付けられた巧みな守備で観客をわかせていました。

27年度さやま市民大学地域ジャーナリスト養成講座  
修了生がお届けします

## さやま・レポート(子育て⑬)

中央児童館は、狭山市を展望できる小高い丘の上にある児童館です。一番の特徴は併設のプラネタリウムで、今日の星空や天体現象などをスタッフが子ども達にも分かりやすく生の声で解説しながら、天井いっぱいに星空を映し出してくれます。また、らせん階段を上った先の天体観望室には大望遠鏡があり、本物の太陽や星も観察できます。

毎週日曜日には、プラネタリウムのドームを使って映画の放映をしているほか、児童館ならではの幼児・小学生向けのイベントも多数開催されています。

親子でのんびり、ゆっくり星空を眺めることのできる施設です。ぜひ、お子さんと一緒に訪ねてみてください。



▶一般投映毎週日曜日、祝祭日と第2・4土曜日の11時からと15時から

▶問合せ中央児童館(入間川4-14-8)

☎2953-0208 休館日毎月第3火曜日と年末年始 駐車場30台

## 友好交流都市・津南町との市民交流は続きます

①5月15日(日) / 津南町民茶摘み体験ツアー(笹井地区)

新潟県津南町から訪れた19名の参加者は摘み取り方の指導を受けた後、真剣な表情で茶摘みに集中。雪国では馴染みのない緑のお茶の葉を前に、参加者はそれぞれに狭山茶の味を思い浮かべていました。



摘んだ茶の葉で、かごはあつという間に山盛り!

②5月28日(土) / 大自然で農業体験(新潟県津南町)

晴天の下、狭山から参加した35名がコシヒカリの苗を植え付けました。慣れない作業に戸惑いながらも、田植えを終えた参加者は、津南産のお米のおいしさに思いを馳せ、秋の稲刈りを心待ちにしていました。



ひざまで水につかり、田んぼの中を歩くのも大変です

## お母さん、いつもありがとう

5月7日(土) / 母の日パン作り講座(広瀬公民館)

親子でパン作りにチャレンジ。生地を丸く伸ばし、乾かさないうち早くあんやクリームを包むことがおいしいパンを作るコツです。ふっくら焼けたパンに手書きのメッセージカードを添えて、少し早めのプレゼントをお母さんに贈りました。



「おいしくな〜れ」と気持ちを込めて



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

## 長年にわたる浄化活動の成果です

5月21日(土) / 不老川クリーン作戦(入曽地区)

地域の住民や山王中学校の生徒など、約620名が参加しました。流域約7kmで拾い集めたごみの量は約4トン。日本一汚い川といわれていた、かつての姿からは見違えるほどきれいになっている川を前に、参加者はさらなる活動の継続を誓い合いました。



川面を渡る風が参加者を癒していました

## おしゃべりから始まるまちづくり

5月21日(土) / つな×つな さやま(産業労働センター)

世代も立場も違う人たちが、自分の想いや考えを本音で伝え合い、学び合う時間を一緒に過ごすことで、人と人とのつながりが生まれる場です。ここで育った「つな」が、いづれ狭山全体の「つな」がりに、狭山への愛着が育まれる…そんな場を目指します。



おしゃべりはこれからも続きます